

上宮寺通信

第二十号

共命鳥(ぐみょうちよう)

パンデミック(世界的流行)となつている新型コロナウイルス。世界各地で猛威をふるっています。

日本では感染拡大を防ぐために、学校は終業式を待たずに休校となり、卒業式や入学式、入社式も軒並み規模を縮小したり中止になったりしています。本来ならば春休みでたくさんの人で賑わつたであろう遊園地などのテーマパークも休園、春のセンバツ高校野球も開催中止となつてしまいました。

一体、いつ、どのような形でこの騒動は終息するのか。先が見えない不安が世の中を覆っています。

この不安は、私たちの生活にもとても大きな影を落とされています。マスクがどこに行っても手に入らない。朝早くドラッグストアで並んでも買えるかどうかかわからない。また、デマによつてトイレットペーパーなどの紙製品が店頭から消えてしまったこともありました。不安が不安を呼び、普段ならば取らないような行動を取つてしまいがちになつていきます。

こういうときに人間の本来の姿が出るような気がします。自分だけよければいいと考える人、お互いに助け合つていこうという人。相田みつをさんの「うばい合えば足らぬ わけ合えばあまる」の言葉に、この騒動で右往左往をしている私たちの姿が照らし出されます。

お釈迦様が説かれた『仏説阿弥陀經』に、極楽浄土には共命鳥という鳥がいると書かれています。

身体は一つなのですが、頭が二つあり、命を共にする鳥です。頭が二つあるものだから、お互いに考え方に違いがあり、極楽浄土に生まれる前はよく争い事を起こしていました。

ある時、我慢の限界に達した片方が、相手を困らせようと毒入りの餌を食べさせました。案の定、食べた方は苦しみました。案外ですが、食べさせた方も身体が一つですから同様に苦しみ、命を落とすことになったのです。

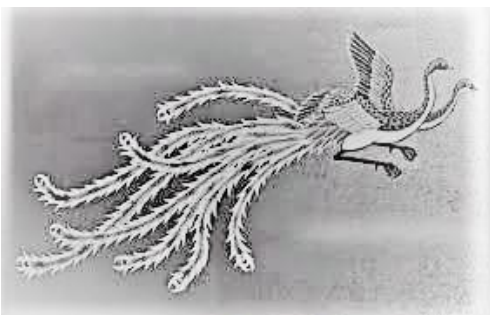
共命鳥は命を落とす直前にそのことを悔いて、仏様の救いによつて極楽浄土に生まれること

ができたといわれています。

この共命鳥の最期は自分のことばかりを考えていると、巡り巡つて自分を滅ぼすことになるということを教えてください。

いま、地球規模の危機である新型コロナウイルスの前に、人類はどういう生き方をするのか、人間が問われているような気がします。

共命鳥



◆行事案内

上宮寺の行事

4月23日(木)

5月23日(土)

上宮寺講

時間：午後二時～

【参加者募集】

信州善光寺・北向観音巡り

6月17日(水)～18日(木)

参加費 3万7千円

宿 泊 湯田中温泉

ホテル椿野

全行程食事つき。

定員 20名

詳しくは上宮寺まで。

※これらの行事は社会状況の変化で変更になる場合もあります。

◆話題あれこれ

○3月8日の春のお彼岸・永代経法要は先月のご案内のように内勤め(参詣案内なしのお勤め)にて勤めさせていただきました。一日も早い新型コロナウイルスの終息を願います。

○4月1日から4日まで京都・東本願寺で「春の法要」が厳修されますが、こちらも参詣をお控えくださいとの案内がありました。

○4月16日の尾張東照宮での舞楽祭も中止となってしまいました。演目にある陵王の舞を後輩に指導していただけにとっても残念です。

○新型コロナウイルスの影響で、お彼岸の時期に合わせて行われるお寺の行事が各地で中止になっています。住職も説教や雅楽での務めがほとんど中止になってしまいました(涙)。社会でもいろいろな面で影響が出てきています。皆さんもたいへんですが、なんとかこの危機を乗り越えましょう。

○身体が第一です。手洗いをしっかりと、規則正しい生活をする事が感染予防につながります。

【雑感】

まさかここまで！というのが本音ではないでしょうか。パンデミックとなった新型コロナウイルス。皆さんも外出を控え予定変更をしたという経験をされていることと思います。我が家でもこの春に大学を卒業した長男が海外への卒業旅行を中止。中学卒業の娘もデイズニー行きが中止となつてしまいました。楽しいことがなくなると、だんだんと気分も滅入ってきます。ボクの大好きなプロ野球も開幕延期。4月24日開幕を目指しますが、選手にも感染者が出て不穏な空気が漂っています。どうなることやら。

(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金一丁目十九番十五号

☎052-871-0547

